

利用者名：コンピュータサイエンス学部 講師 武 博



Title: Integrating Acupuncture and Herbal Medicine into Assisted Reproductive Technology: A Systematic Review and Meta-Analysis of East Asian Traditional Medicine

(鍼灸と漢方薬を生殖補助医療に統合する：東アジア伝統医学の系統的レビューとメタ分析)

Authors: Peng Xiangping, Wu Bo, Zhou Siyu, Xu Yinghan, Ogihara Atsushi, Nishimura Shoji, Jin Qun

(Peng Xiangping (早稲田大 研究員) 武 博 (東京工科大 コンピュータサイエンス学部 講師)

周 思宇 (杭州師範大 准教授) 徐 桜晗 (早稲田大 人間科学部 助手)

扇原 淳 (早稲田大 人間科学学部 教授) 西村 昭治 (早稲田大 人間科学学部 教授)

金群 (早稲田大 人間科学学部 教授))

Journal: Healthcare

掲載年月: 2025 年 6 月

研究概要: 生殖補助医療 (ART) は不妊治療に不可欠であるが、着床率や出生率の低さから成功率が限定されることが多い。東アジア伝統医学 (EATM) には鍼治療や漢方薬 (HM) が含まれ、ART 周期中の生理的反応を促進する可能性がある。本研究では、ART を受ける女性における臨床妊娠率と出生率の向上に対する EATM の有効性と安全性を評価した。本研究では、PROSPERO (CRD42023411712) に登録され、2023 年 3 月 31 日までに 11 のデータベースを系統的に検索した。EATM 介入を対照群と比較したランダム化比較試験 (RCT) を対象とした。データ抽出と質の評価は 2 名の著者が独立して実施した。メタアナリシスは Stata 12.0 で逆分散法を用いて実施した。合計 37 件の RCT (対象女性 10,776 名、年齢 29~38 歳) を分析対象とした。研究対象となった不妊症の原因には、多嚢胞性卵巣症候群、卵管閉塞、卵巣機能低下、原因不明不妊が含まれた。鍼治療には体鍼、電気鍼、レーザー鍼、耳鍼が含まれた。漢方治療は伝統的な中国処方にに基づき、粉末、丸薬、顆粒、煎じ薬、軟膏として投与された。

研究背景: 不妊症は世界中で何百万ものカップルに影響を及ぼしており、生殖年齢のカップルの約 10~15% が妊娠困難を経験していると推定されています。この世界的な課題により、体外受精・胚移植 (IVF-ET) や顕微授精 (ICSI) といった生殖補助医療技術 (ART) が広く普及している。IVF-ET では卵子を実験室で受精させ胚を子宮に移植し、ICSI では精子を直接卵子に注入する技術である。1978 年に導入された IVF は画期的な進歩であったが、日本、韓国、中国などの国々における出生率の低下は、ART の有効性向上の需要を高めている。しかし、ART の成功率は依然として控えめで、臨床妊娠率 (CPR) は 30~40%、出生率 (LBR) は 6.3~31.3% にとどまっている。こうした課題を踏まえ、補完療法、特に東アジア伝統医学 (EATM) への関心が高まっている。そして、生殖医療における鍼治療と漢方薬の長期にわたる使用実績を踏まえ、これらの療法は生殖補助医療 (ART) と併用することで妊娠転帰や出生率を向上させる可能性が注目されている。その結果、研究者らは ART における補助療法の探求にますます焦点を当てている。本システムティックレビューとメタアナリシスは、ART を受ける女性の妊娠率および出生率向上における EATM の有効性を徹底的に評価することで、既存文献の空白を埋めることを目的とする。我々は無作為化比較試験に焦点を当て、鍼治療や漢方薬などの介入を分析する。

研究成果: EATM 介入は臨床妊娠率および出生率の有意な改善と関連していた。鍼治療は臨床妊娠率 (CPR: RR 1.316, 95% CI 1.171-1.480) および出生率 (LBR: RR 1.287, 95% CI 1.081-1.533) を増加させた。漢方薬も CPR (RR 1.184) および LBR (RR 1.147) を向上させた。サブグループ解析では、真鍼治療と漢方薬が偽鍼治療やプラセボよりも有効であることが示された。有害事象に有意差は認められなかった。EATM、特に鍼治療と漢方薬は、ART の治療成績を改善するために使用できる安全かつ効果的な補完療法であるように思われる。今後の研究では、ART との統合を最適化するための標準化された鍼治療および漢方薬プロトコルの開発に焦点を当てるべきである。

社会への影響: 本研究により、東アジア伝統医学 (EATM) の介入——特に鍼治療と漢方薬——が、生殖補助医療と併用することで、有害事象や脱落率を増加させることなく、臨床妊娠率や出生率を含む生殖アウトカムを著しく改善できるという強力な証拠を提供している。これらの知見は、不妊治療の補助療法としての EATM の潜在的な安全性と有効性を支持するものである。

専門用語：

メタアナリシス：同じテーマの複数の研究結果を統計学的に統合し、より信頼性の高い全体的な結論を導き出す分析手法

サブグループ解析：全体集団を特定の基準で分割したサブグループ（部分集団）ごとに、治療効果や影響を個別に評価する統計解析手法